

# 校長室だより 9月号



心豊かに<sup>カ</sup>がやく子 自ら学び<sup>カ</sup>んばる子 健やかに<sup>カ</sup>くましく生きる子

～ 一人ひとりがキラッとかがやき、笑顔にあえる学校 ～

校長 寺垣 真二

## 未来へ受け継ぐ平和への願いから

今年の夏は暑い日が続きました。40℃に迫る日もありましたが、みなさま方は体調を崩さず、充実した時間をお過ごしになられたでしょうか。この夏休み期間中にパリオリンピックも開催されました。4年に一度の五輪の出場には、類稀な能力、才能だけでなく、日々の努力と鍛錬が必要になってきます。そしてようやくたどり着いた大舞台上で、自分のベストを更新するアスリートもいましたが、国を代表するトップアスリートでさえ自らの能力を存分に発揮し切れず終わってしまうこともありました。日本人選手の中にも明暗を分けた選手もいました。

さて、このオリンピックですが、ただ単なる競技をし、メダリストを決めるということではありません。古代オリンピックでは、競技期間中に「神聖な休戦」が宣言され、戦争や紛争が一時的に停止されました。この精神は、スポーツが平和と協力を促進する力を持つという基盤となり、現代オリンピックにも受け継がれ、平和と相互理解が憲章に盛り込まれました。また様々な国のアスリートや観客が一堂に会することから、多様な文化と理解を深める場にもなっています。競技を通じて異なる背景を持つアスリートたちが、互いに尊重し合い、友情を育むことで、平和な社会の実現に寄与している「平和の祭典」でもあります。

日本も以前、戦争をおこない、多大な犠牲を被ったり、悲惨な暮らしや尊い命が奪われ…平和への願いは、今もなお絶えません。1945年8月6日に原爆投下された広島では、次世代に戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える活動を積極的におこなっています。しかし残念なことに今なお、世界のどこかで戦争は、起こっています。

戦争を体験していない私達にできることは、戦争の悲惨さと平和への重要性を理解し、未来に向けて平和を築くための努力を続けることだと思います。特別なことをするという事ではなく、日常生活での取り組みが大事になってきます。異文化への理解と尊重、他者との対話や意見の違いを尊重し、平和的なコミュニケーションを心がけることが求められます。

さあ、2学期がスタートします。まだまだ暑い時期が続きますが、早く学校生活に慣れるよう早寝早起き、食事面等に気をつけ、自分自身の生活のリズムを整えてほしいと思います。またそれと同時に、先ほど述べたように他者へ向けての気遣いや感謝、

認め合いといった友だちを大切にしながら協働的な学習や活動、協調的な生活をしながらお互いに高め合える集団になれるようにしたいものです。これが平和であり、安心安全な学校だと思います。教職員一同、子どもたちと力を合わせてすすめてまいります。保護者のみなさま、地域のみなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

### 【納涼映画音楽祭】

第36回納涼映画音楽祭が7月21日（日）に開催されました。校区の健全育成会の皆様、ボランティアの皆様、企画・運営・準備等していただき、ありがとうございました。夏の楽しいひと時をみなさんと一緒に創り上げる事が出来ました。



### 【加賀田公民館との「ふれあい合校」開催】

公民館との複合化の工事が始まり、来年度4月から本格的に複合化となります。ハード面での複合化のみならず、ソフト面として、学校教育の中へ地域の方々が見学する場の拡大を図り、子ども達の社会性、コミュニケーション力を育むことを目的とします。

その準備段階として、2学期から地域の人と一緒にこなう「ふれあい合校」を取り入れていきます。地域の力を借りながら、子ども達の成長をより良いものにできたらと思っています。

## S.P.S(セーフティ・プロモーション・スクール)をめざして

そもそも、SPSとは？

平成24年5月に閣議決定されたわが国の教育振興基本計画の理念を中核とし、WHOやUNISEFが推進している考え方を参考として、わが国独自の安全推進を目的とした取り組みです。7つの指標に基づいて、学校安全（生活安全・災害安全・交通安全）の目標・計画を設定し、その目標計画を達成するためにS-PDCASサイクルの実践と協働、評価と共有が継続的に行われていないと認定されません。

本校は、令和4年度からこのSPS認証を目指して活動を開始し、令和5年7月に認証申し込みをしました。上手くいけば、今年度に認証校となるかもしれません。安全に関する意識を今まで以上に高めていく必要があります。